国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令 和 5 年 6 年　30 日
東北地方整備局港湾空港部

東北港湾アクションプログラムの取組み状況をまとめました

～港湾空港建設業界の健全な発展に向けて～

東北地方は人口の減少や高齢化の進行が全国に比べ顕著であり、担い手確保をはじめとした**港湾空港建設業の健全な発展**は特に重要であることから、新担い手３法や東北管内における同業界の課題等を踏まえ、

（１）働き方改革、（２）担い手育成・確保、（３）生産性の向上

について、具体的な取組みを推進することとしており、令和４年６月に発注者が実施（改善）すべき事項や受注者に期待する事項、双方で取り組むべき事項について、同業界のご意見を頂きながら、東北港湾アクションプログラムとして取りまとめました。

作成から１年経過を迎え、**現在の取組み状況を取りまとめました**。

■東北港湾アクションプログラム　現在の取組み状況
https://www.pa.thr.mlit.go.jp/li/190/230616actionprogram.pdf

〇休日確保のための取組み

令和３年度完成工事における休日確保（４週８休）66.7%に対し、令和４年度完成工事では 84.6%と改善しています。

〇働く場改革のための取組み

秋田港防波堤上部工のプレキャスト導入を進める等、海上作業の効率化のための取組みを推進しています。

〇担い手確保・育成・定着のための取組み

青森港等における官民合同の「みなと見学会」を開催や、大学生に港湾に関する講義を行う等、担い手確保の取り組みを実施しています。

〇ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進、作業船の安定的な維持（港毎の具体的議論）、災害時対応強化、職員・業界の技術力維持のための取組み

東北管内に在場する主要作業船の係留状況を把握すると共に、酒田港等において新たな係留場所の確保に向けた取り組みを進めています。

〈発表記者会〉宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ先】
東北地方整備局港湾空港部　事業計画官　渡部　秀幸（内線 6216）
住　所：仙台市青葉区本町 3-3-1　仙台合同庁舎 B 棟
電　話：022-716-0001（代表）

東北港湾アクションプログラム

現在の取組み状況

～港湾空港建設業界の健全な発展に向けて～

令和5年6月

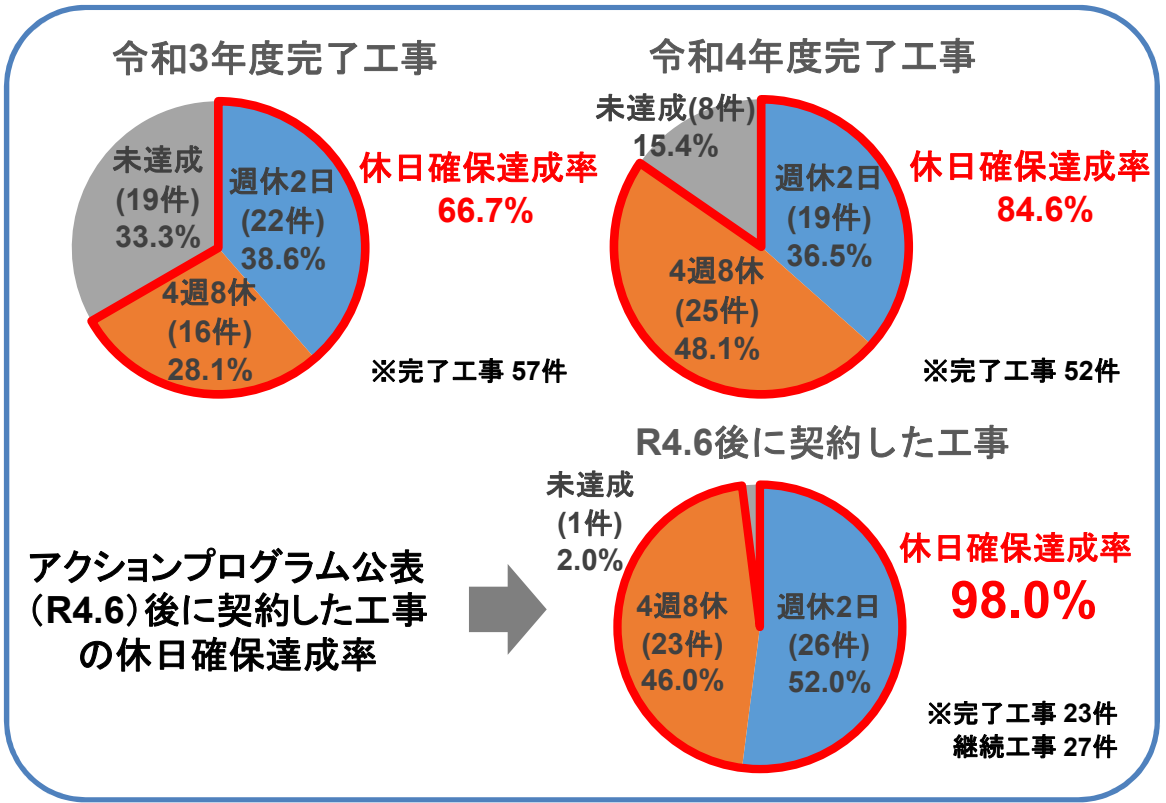
東北地方整備局

東北港湾アクションプログラム　現在の取組み状況

休日確保

- 令和4年度完了工事の休日確保達成率は84．6%。
  未達成工事8件の主な要因は、前工事や他工事の遅れの影響、気象海象条件の影響（ケーソン据付等では連続した好天期間が必要）など。
- 港湾空港建設業界の意見も踏まえつつ、早期発注による余裕工期確保等の適切な工期設定、荒天リスク精算型試行工事等の適用拡大、品質確保調整会議の活用などを通じた取組みを現場も含め徹底。
- なお、アクションプログラム公表（R4.6）後に契約した工事（50件）の休日確保達成率は、98．0%。

※R5.5.31現在、継続中工事含む



具体的な取組み内容

- 試行工事の積極的な取組み
  ・休日確保評価型試行工事（工期指定）
  　R4年度：2件、 R5年度：5件
  ・荒天リスク精算型試行工事
  　R4年度：2件、 R5年度：10件
- R4d補正予算（R4.12.2成立）に関し、現地施工期間をできるだけ確保するため、3月上旬以降契約できるよう早期発注
- パーティ数等を記載した工程表の速やかな提示（全工事で概ね1週間以内に提示している）
- 全工事で工事品質調整会議を開催

今後の更なる取組み

- 港湾空港建設業界の意見も踏まえつつ、引き続き適切な工期設定などに取組み、休日確保の拡大を推進していく。

東北港湾アクションプログラム　現在の取組み状況

働く場改革

- 快適トイレ導入は全工事で実施中
- プレキャストについては、秋田港防波堤上部工においてプレキャスト部材による施工を進めているほか、久慈港、酒田港においても導入を検討中
- 遠隔臨場はR4.12以降、対象工種を含む全工事を対象に本格運用を開始済み

※現地における電波状況を考慮して運用



秋田港防波堤上部工（プレキャスト施工状況）

担い手確保・育成・定着

- 種市高校支援
  ：EE東北や八甲田丸港フェスタでのPR（ポスター掲示）、
  小中学生向け久慈港現場見学会でのPR（潜水作業の実演見学や資料配布）
- 表彰拡大（下請けへ）
  ：R5年度より、下請企業表彰に対する総合評価における加点評価
- 業界と協働したリクルート活動や効果的な広報
  ：官民合同の「みなと見学会」を開催
  （R4年度開催港：3港（青森港、久慈港、酒田港）、
  対象：高校生・高専生・大学生、 参加者：105名）
  ※このほか、直轄事務所単独の現場見学会も計20回開催（約300名が参加）
  ：R5年度は、上記のほか、官民合同の大学生向け「講義」を開催予定
  ：引き続き、官民で意見交換しつつ、積極的に取組みを推進



R4d 久慈港湾口防波堤現場見学会



R4d 官民合同のみなと見学会（青森港）



R5.6 港湾空港建設業界との意見交換

東北港湾アクションプログラム　現在の取組み状況

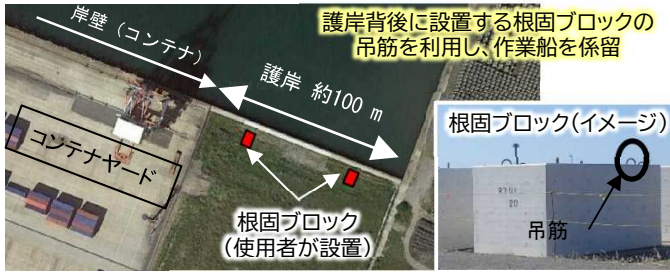
DXの推進

- BIM/CIM実施件数：工事・業務合わせ、R4年度実施件数23件（実施率80%）、R5年度実施件数24件（実施率100%）
- 講習会の実施、官民で技術を共有できる取組み
  ：R4年度、民間技術発表会、若手技術者発表会を実施（R5年度も実施予定）


R4d 民間技術発表会

作業船の安定的な維持

- 東北管内に在港する主要作業船（潜水士船除く）85隻について、係留状況を把握済み。これら在港船に加え、外来船に関する各港の実態整理と対応策について港湾空港建設業界と官民共同で検討中。
- 酒田港では、護岸を有効利用して新たに係留場所を確保済み。
  能代港でも新たな係留場所確保のための具体的取組みを検討中。



酒田港の係留場所確保の概要

災害時対応強化

- 企業BCPの策定推進、津波訓練
  ：企業BCPは74社認定済み（R5.4時点）
  ：地震・津波防災訓練をR4.11に仙台塩釜港仙台港区にて実施
- 日本埋立浚渫協会が作成した東日本大震災対応の映像「航路啓開編」と「災害復旧編」が3.11伝承ロード推進機構の映像アーカイブ事業に認定
- R4.3福島県沖地震では、相馬港ですべての公共岸壁が被災（4バースのみ利用可能）
  災害協定に基づく官民合同の被災調査等を経て、
  応急復旧によりR4.4末までに10バース利用可能に。引き続き本復旧工事を実施中。

3.11伝承ロード推進機構の
映像アーカイブ事業QRコード